

たちばな

川崎市立橘高等学校同窓会
会報「たちばな」第 号
平成19年8月20日 発刊
〒211-0012
川崎市中原区中丸子562
TEL 044-411-2640
<http://homepage2.nifty.com/tachibana-dsk>

溝の口時代



橘高校創立65周年

思い出の学び舎



大戸時代

中丸子時代（旧校舎）



同窓会長
長谷川 幸夫

中丸子（現校舎）



橘高校は、昭和十七年川崎市立橘中学校として設立され（昭和二十三年学制改革により、橘高等学校になる。）、今年創立六十五周年を迎えました。校舎の変遷をかえりみると、開校当時の校舎は、下小田中の大戸小学校旧校舎及び大戸神社社務所でスタート。昭和二十二年三月久本の旧日本光学跡に移転し、昭和二十七年四月中丸子の現在の地の木造二階建ての新校舎

同窓会の皆様には、ご健勝の事と推察申し上げます。

さて、私儀去る6月9日開催された平成19年度代議員会にて、引き続き会長として再任されました。向こう2年間微力ながら同窓会運営責任者として

全力を尽してまいります。

同窓会員も本年度の会員三百八名を迎えて、一万余名となり、若い世代が過半数を占める

ようになり、若手の方々

が集まることは難しく、各期の代議員による代議員会がその役割を果たしています。

会の基本理念「会員相互の親睦を図る」は、会員数の増加によって一同が集まることが難しく、各期の代議員による代議員会がその役割を果たしているのが現状ですが、年々代議員会への出席も減りつつあります。この現状を打破して何らかの対策をと模索しております。

同窓会の活性化に向けて

その一つとして「会報」があります。会報発行において会員の動向や相互連携がとれればと考えます。

に同窓会活動に参加され、会の活性化を図りたいと考えております。

会の基本理念「会員相互通の親睦を図る」は、会員の発行が現状です。本年は年度会費徴収の年であり、財政逼迫のおり会員の費用が必要で、2年毎

に会員の動向や相互連携がとれればと考えます。

しかし、会報発行における協力を願いします。

送り頂ければ幸甚です。

今後ともご支援等宜しくお願い申上げます。

に移転した。

その後何回かに亘り、鉄筋コンクリートに増改築しました。

そして平成十四年二月

在の新生橘高校となりました。

又、同窓会は昭和二十

八年一月発足し、今年五

十四年目を迎え、会員相互の親睦と母校後援に努めています。

活躍する部活動



軽音部

平日の放課後と土曜日に練習をし、文化祭や納会にメインイベントとして取り組んでおります。

この数年5人前後で、水彩画を中心に行っています。歴代の先輩方と一緒にアクリル・油絵に取り組んでいます。

美術部



書道部

I.C.C (International Cross Cultural Committee) は、様々な文化背景を持つ人たちとの交流を実践している。

本年度は4月にフランスから来日した大学生と、5月はJICA研修員との相互文化交流活動を行つた。今後もアジア留学生との交流、アメリカンスクール1日体験入学を行う。

吹奏楽部

二〇〇六年度吹奏楽東関東コンクール・A編成の部門で、銀賞、神奈川県大会B編成の部門では、金賞を受賞した。



第8回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜2006

野球部

東大会予選会・県総合体育大会に躍進しました。

一〇〇七年度部員10名。人数は少ないながらも生徒自身が自主的に熱心に練習に取り組めるようになつてきています。男子ダブルス・シングルスで川崎地区予選を突破し関東大会予選会・県総合体育大会に躍進しました。

バスケットボール



卓球部

一〇〇七年度部員10名。月の鹿島槍・8月の常念月を目指して活動しています。

二〇〇七年度は部員1名という状況ながら、7月の八ヶ岳と充実した山行を開催しました。

箱根、7月の立山、さらには8月の八ヶ岳と充実した山行を開催されました。

東大会に出場6月には白根山」で開催された関東大会に出場6月には「草津白根山」で開催された関東大会に出場6月には



山岳部

7月8日より開幕された県大会で、昨年以上の上位進出を目指して練習に励む。今年度は初戦は7月12日、大和高校と対戦。

13対1の6回コールドで快勝。続く2回戦では川崎北高校と横須賀球場で対戦。0対2と惜敗しました。(川崎北は5回戦まで進出)

引き続き応援お願いします。

硬式テニス部

現在、男子11名、女子12名で練習しています。コートではみな必死になつてボールを追っています。



二〇〇七年、山本梨花子選手が関東大会に出場。10位と惜しくも全国への切符を逃してしまいました。

神奈川県高校総体100Mハードル3位 山本梨花子

ソフトテニス

二〇〇七年、山本梨花子選手が関東大会に出場。10位と惜しくも全国への切符を逃してしまいました。

神奈川県高校総体100Mハードル3位 山本梨花子

サッカー部

春休みの韓国遠征が実現です。男女とも、市では上位入賞し、県大会に出場しています。今後は県大会でも上位入賞できるように日々練習に励んでいます。

二〇〇七年関東・総体予選で、ベスト16には入り高校選手権の予選シード権を獲得しました。



バトミントン

ます。

1年・2年計23名で活動9月の新人戦で県大会への切符を目指し練習中



004-016

第54回 関東高等学校剣道大会

第54回 関東高等学校剣道大会

平成19年6月2日(土)
平成19年6月3日(日)

二〇〇七年五月十三日に行われた関東大会神奈川予選にて第7位、関東大会に駒を進めたナノ君が4月に初段獲得。昨年9月よりドイツで留学し帰国したベンコール、剑道部女子は平成4年の

剣道部



大会では14年に全国制覇を達成し、春の選抜大会では3位が3回、関東大会には16年連続17回出場し、17年には優勝し関東制覇を達成。他に準優勝1回、3位2回、ベスト8は6回の成績を收めている。今後もさらに好成績を目指して頑張りたいと思っています。

男女バレー、ボル部は、今年も春の選抜バレー(春高バレー)には男女アベック出場を果たした。また、関東大会も男女とも出場し、女子が第3位入賞。

全国総体県予選でも男子が2年連続金勝優勝、女子は決勝で大和南に敗れるも第二代表として15回目の全国総体(インター)ハイの出場を果たしました。

男女バレー、ボル部は、今年も春の選抜バレー(春高バレー)には男女アベック出場を果たした。また、関東大会も男女とも出場し、女子が第3位入賞。



132-078

コカ・コーラ杯若さでアツツ! 第38回 春の高校バレー
全国高等学校バレー、ボル部選抜優勝大会

平成17年度第52回関東高等学校剣道大会

平成17年6月3日～5日
静岡県総合スポーツセンター

△準々決勝	橘	25	25	25	2	1	25	25	25	2	0	3回戦	バレー、ボル部	【女子決勝トーナメント】
		—	—	—		—		—	—		—	(長野)	(東京)	(長野)
	17	20	27	—	—	—	—	—	—	—	—	東海大三	共栄学園	(長野)

△準々決勝	橘	25	20	1	2	1	25	25	2	0	3回戦	羽田野義博監督(高校16期)	「ここまでくれば気持ちは勝敗を左右する。(大	の末に競り勝ら、4強入りした橘バレー部。
		—	—	—	—	—		—	—	—	—	(宮崎)	(熊本)	(大分)
	25	17	20	洛	南	(京都)	23	21	日	向	学	園	西	千葉

インターハイ速報

が勝敗を左右する。(大

快挙も

校の4強入りは快挙も

和南とともに神奈川勢2

が勝敗を左右する。(大

快挙、すごいことだ。決

勝で大和南とやれたら面

白いね」と興奮していた。



△準々決勝	橘	19	25	20	1	2	1	25	25	2	0	3回戦	橘	28	25	2	0	2回戦	橘	25	22	27	2	1	1回戦	橘	24	19	1	26	25	準決勝	橘	0	2	(長崎)	習志野	千葉	【男子決勝トーナメント】	(熊本)	18	25	25	2	1	1回戦	橘	24	19	1	26	25	準決勝	橘	0	2	(長崎)	習志野	千葉	【男子決勝トーナメント】	(熊本)	18	25	25	2	1
		—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	(宮崎)	(熊本)	(大分)	(宮崎)	(熊本)		(大分)	—	—	—	—	—		(大分)	—	—	—	—	—		(大分)	—	—	—	—	—		(大分)	—	—	—	—	—																					
	25	17	20	洛	南	(京都)	23	21	日	向	学	園	(宮崎)	西	(熊本)																																																			

インターハイ 持ち味発揮 快進撃
三位の快挙

バレーボル部女子は同じ神奈川の大和南とともに準決勝に進出、神奈川勢としては23ぶりの快挙。決勝進出はならなかつたが、3位の結果にレフト吉村選手は「自分たちのバレーボルができた」と胸を張った。(神奈川新聞)



代議員会の様子（写真上）



報告・提案する役員（写真右）

親副川（度催
会会ク案事さ平
が長ラ）業れ成
開さブに報ま19
催んへつ告し年
さを移い・た度、
れおして決
ま招て審算議代
しき学議報長議
たし校さ告に員
。長れ並荒会
約は承び井が
50に認に久6
名めさ平雄月
参先れ成氏9
加生た19（日
の方。年30（
も、引度期土
と歴き事
和代続業を、
や学き計選橋
か校場画出高
な長所（
霧（を案）に
P N（
気T E・成い
でA C予18て
懇正玉算年開

事業計画、予算案

承認
される

平成19年度代議員会報告

平成18年度
事業報告

（同窓会コーナー設置 8、7、6、会報発行 母校への後援 橘花祭へ参加 及び懇親会の開催 代議員会	1、入学式、卒業式への参列	平成19年度 事業計画	「修学旅行の変遷」	同窓会コーナー設置 8、橘花祭へ参加 (橘花祭・文化賛助他)	6、会報発行への準備 (6月17日) 7、母校への後援 （橘花祭・文化賛助他）	5、代議員会及び 懇親会の開催 計8回	2、PTA総会への出席 （5月13日）	1、入学式 (4月6日) 卒業式（3月2日）
	2、PTA総会への出席 （5月13日）	3、役員会の開催 計3回				4、事務局会議の開催 計3回	5、代議員会及び 懇親会の開催 計8回	1、入学式 (4月6日) 卒業式（3月2日）

平成19年度 収支予算

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

川崎市立橘高等学校同窓会

【収入の部】

(単位：円)

項目	18年度予算額	19年度予算額	比較増減	備考
繰 越 金	1,214,834	1,315,154	100,320	前年度繰越金
入 会 金	939,000	915,000	△24,000	18年度卒業生 305人
	828,000	792,000	△36,000	264人(2人減)
	111,000	123,000	12,000	41人(4名増)
年 会 費	60,000	1,050,000	990,000	350人×3,000円
代議員会費	90,000	120,000	30,000	
雑 収 入	10	10	0	預金利子
合 計	2,303,844	3,400,164	1,096,320	

【支出の部】

(単位：円)

項目	18年度予算額	19年度予算額	比較増減	備考
事務局費	220,000	220,000	0	
	200,000	200,000	0	慶弔費・橘花祭会費等
	20,000	20,000	0	
会 議 費	500,000	500,000	0	
	100,000	100,000	0	
	400,000	400,000	0	
事 業 費	600,000	1,600,000	1,000,000	
	100,000	1,100,000	1,000,000	会報制作費
	500,000	500,000	0	橘花祭会費・部活動費
積 立 金	100,000	100,000	0	周年行事積立として
予 備 費	883,844	980,164	96,320	
合 計	2,303,844	3,400,164	1,096,320	

平成18年度 収支決算報告書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

川崎市立橘高等学校同窓会

【収入の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰 越 金	1,214,834	1,214,834	0	前年度繰越金
入 会 金	939,000	939,000	0	17年度卒業生
	828,000	828,000	0	276人
	111,000	111,000	0	37人
年 会 費	60,000	6,000	△54,000	
代議員会費	90,000	82,000	△8,000	
雑収入	10	85,725	85,715	
合 計	2,303,844	2,327,559	23,715	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	予算残額	備考
事務局費	220,000	128,708	91,292	
事務外費	200,000	120,848	79,152	
	20,000	7,860	12,140	
会 議 費	500,000	398,697	101,303	
	100,000	1,030	98,970	
	400,000	397,667	2,333	
事 業 費	600,000	385,000	215,000	
	100,000	0	100,000	会報制作費
	500,000	385,000	115,000	橘花祭会費・部活動費
積 立 金	100,000	100,000	0	周年行事積立として
予 備 費	883,844	0	883,844	
合 計	2,303,844	1,012,405	1,291,439	



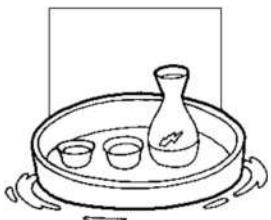
昭和40年3月卒業した
3年4組久保田先生のク
ラス会 平成18年5月3
日、総幹事向山孝君を中
心にして開催しました。
前回幹事であった小川慶
が幽明境を異にし、生前、
小川君本人から、「皆に

昭(平成17年9月20)
この約束は、平成15年
12月14日のクラス会の折、
40年振りに母校の橘高校
を訪問し、同級生の澤野
千恵子さんの計らいによ
り、立派になつた校内を
見学させていただき、こ

会いたい、早めにクラス
会を開いて欲しい」旨の
希望が伝えられていま
した。

クラス会だより

高校17期組



の時の幹事が小川君で、
同じ日、同級生の内田シ
ズ子さんの店、矢野口駅
前「与志鮨」で集まりク
ラス会を開きました。残
念ながら小川君が還暦前
に亡くなり、計画したク
ラス会に間に合わず、断
腸の思いです。合掌

我がクラスは3年2組
と、良く連絡をし、再三
にわたり合同で集い、
修学旅行で訪問した熊本
県阿蘇郡小国町の小国高
校生に、友情参加しても
らい、若き日の思い出、
文通した相手に43年振り
に再会出来た等。

お互い60歳を越え良き
旧友、若くして亡くなつ
ている数名の者、連絡が
取れない友、これから還
暦を過ぎ第三ステージに
元気に入つて行きましょ
う、更なる再会を約して。
(和泉民雄)

さしてゐる人、いろいろで
したがそんなことは越え
て18歳当時の気持ちに戻
れた本当に楽しいひとと
きでした。

この世代は親の介護を
する人や既に送つた人
など聞いてみるとなかなか
か身につまされる話で大
変だなと思いました。

残念ながら48名いた仲間
のうち5名の男性が亡く
なつっていました。(ご冥福
をお祈り致します。)(合
掌)

かなり様子の変わつて
しまつた人、染めてもい
かないのに黒い髪がふさふ
ふさふさ



17期 5組のみなさん



2006/10/14

併用2期 高校4期・5期 (定時制の一部)

旧制中学最後の入学生
として母校には感慨一入
のものあり。

五島前校長のご挨拶、

ト

同期会短信

清水教頭 (現副校長) の
ご案内での母校見学と玉
川クラブでの懇親会。

い出にひたり、毎年の再
会を約し盛況裡に散会し
た。

(桑原 正)



好評だった同窓会コーナー

修学旅行の思い出話に
なると、年齢に関係なく
とめどなく思い出が湧いて
きて、話が尽きないと
いう経験を誰もが持つて
きたのか、変遷の歴史を
たどってみよう。

わが校の修学旅行は、
復活第1回目は昭和22年
秋、高校2期生が最初
泊5日で宿泊用の米を各
文化遺跡の見学を目的と
し団体行動の形態をとつ
た。期間は3泊4日か4
泊5日で宿泊用の米を各
自が持参した。

修学旅行の歴史

二〇〇六年橘花祭 同窓会コーナーから

● 昭和22年実施 (高校2期)	
第1期 戦後から	昭和三十年代初めまで
● 昭和22年実施 (高校2期)	川崎→(夜行普通列車) ↓京都・奈良見学(1泊) ↓(夜行普通列車)→川
第2期	昭和三十年代初めから 四十年代半ばまで
● 昭和32年実施 (高校11期)	家庭の経済事情や交通 事情も好転して行動範囲 は九州・四国・中国地方 まで拡大し、期間も6泊 7日、往復の交通機関も さらに新幹線も利用でき るようになつた。
第3期	昭和四十年代末から 五十年代末まで
● 昭和46年実施 (高校24期)	この時期は自主性、主 体性が重んじられ求めら れるようになった社会の 傾向が修学旅行にも影響 をおよぼし、団体行動で なく、自主研究・自主見 学を主体とした小グループ での行動をとりいれた ところに特徴があります。
第4期	昭和五十年代末から 六十年代初めまで
● 昭和60年4月実施 (高校39期)	この時期は社会や生徒 の変化に伴なつて、小グ ループにより自主研究・ 自主見学の方法がうまく 機能しなくなり、それに 変わつて体験学習的な修 学旅行が求められるよう なつた。
第5期 現在まで	この時期は体験学習の 一つの形態としてスキー を修学旅行にとりいれた ことです。平成元年には 広島での平和学習を柱に した修学旅行を実施した が、その後平成5年現在 までスキーが続けられ、 平成6年3月実施の修 学旅行は北海道でスキー、 往復の交通は航空便が利 用された。
● 平成18年11月実施 (高校59期)	①11/27 川崎→成田空 港→(航空機・日付変更 なし)②11/29 ハワイ(オ ーラフ島)→班別行動(クオ ラム・自由行動→ホノル ル(泊))③11/30 ハワイ(オ ーラフ島)→ホノルル(泊)
第6期	平成十七年は海外(ハワイ)で実施 戦後の橘高校の修学旅

過去3年 進路状況

年度	平成16年 ('04)	平成17年 ('05)	平成18年 ('06)
民間企業	19	23	15
公務員	1	4	2
大学	91	114	116
短期大学	31	27	27
専門学校	88	79	75
職業技術校	1	0	0
卒業生数	264	276	264

(二)5年間の進路状況
は、就職者が減少し4年
制大学への進学が増加し
ています。平成14年度が
28%、平成17年度が51%で
てあります。平成18年度は
54%です。

50パーセント
越す

大学への進路状況
は、就職者が減少し4年
制大学への進学が増加し
ています。平成14年度が
28%、平成17年度が51%で
てあります。平成18年度は
54%です。

進路状況

傾向にあります。

平成18年度は国際科・

スポーツ科の第4期生が
卒業し、その実力も反映

しています。特に国際科
では特色あるカリキュラ
ム効果で推薦入試の道が
開かれています。

修大学・洗足学園音楽大
学・創価大学・拓殖大学・
玉川大学・鶴見大学・帝
京科学大学・帝京大学・
田園調布学園大学・東海
大学・東京工科大学・東
京芸術大学・東京女子体
育大学・東洋学園大学・
明治大学・明星大学・横
浜商科大学・立正大学・
和光大学

【短期大学】 青山学院
和光大学
【短期大学】 青山学院女
子短期大学・和泉短期大
学・大妻女子短期大学・
鎌倉女子大学短期大学部・
カリタス女子短期大学・
川崎市立看護短期大学・
駒沢女子短期大学・自由
が丘産業能率短期大学・
洗足学園女子短期大学・
鶴見大学短期大学部・戸
板女子短期大学・東横学
園女子短期大学・横浜女
子短期大学・横浜創英短
期大学



【就職】 (株)オーブ・(株)エ

ナウシス学院専門学校
東京医療学院専門学校
東京栄養食糧専門学校
東京観光専門学校・東京
ト専門学校・東京スポーツ
学校・東京ネットウエイ
ツレクリエーション専門
学校・東京マックス
専門学校・東京マックス
ベルカレッジ・阿佐ヶ谷
美容専門学校・東洋美術
専門学校・トラベルジャーナル旅行専門学校・日本
6時間(1,2年生)で、
他は5時間授業です。ほ
ぼ全日制高校と同じ時間

橋高校の定時制は、昭
和23年創立という歴史と
伝統のある学科です。卒
業生はすでに三千名以上
にのぼり、各分野で活躍
しています。
1年生及び2年生に基
礎漢字、基礎計算の授業
をおき、基礎学力を培っ
ています。

平成6年より実施され
た3年制過程では、1日
の授業時間は月曜のみで
6時間(1,2年生)で、
他は5時間授業です。ほ
ぼ全日制高校と同じ時間

定時制60年の伝統

- 専門学校 青山ケンネルカレッジ、御茶の水スクール・オブ・ビジネス専門学校、国際能短期大学Ⅱ部(3)
- 専門学校 昭和女子大学短期大学部、鶴見大学短期大学部、産業デザイン工学部Ⅱ部、

本工学院専門学校・ハリウッド美術専門学校・聖ヶ丘教育福祉専門学校・文部省認定専門学校・横浜市病院ビューティーアート・横浜リゾートスポーツ専門学校・横浜リハビリテーション専門学校・横浜保育福祉専門学校・横浜アーティストアカデミー学校・新宿調理師専門学校・町田デザイン専門学校・専門学校・国際製菓専門学校・関東リハビリテーション専門学校・国際医療福祉大学・国士館大学・駒澤大学・相模女子大学・産業能率大学・松蔭大学・成蹊大学・専修大学・洗足学園音楽大学・創価大学・拓殖大学・玉川大学・鶴見大学・帝京大学・京科学大学・帝京大学・田園調布学園大学・東洋大学・東京工科大学・東京芸術大学・東京女子体育大学・富士薬業大学・法政大学・武藏工業大学・武蔵大学・明治学院大学・明治大学・明星大学・横浜商科大学・立正大学・和光大学

専門学校への進学

平成18年度は国際科・
スポーツ科の第4期生が
卒業し、その実力も反映
しています。特に国際科
では特色あるカリキュラ
ム効果で推薦入試の道が
開かれています。

18年度進路状況 【四年制大学】 青山学院 和光大学 【短期大学】 青山学院女 子短期大学・和泉短期大 学・大妻女子短期大学・ 鎌倉女子大学短期大学部・ カリタス女子短期大学・ 川崎市立看護短期大学・ 駒沢女子短期大学・自由 が丘産業能率短期大学・ 洗足学園女子短期大学・ 鶴見大学短期大学部・戸 板女子短期大学・東横学 園女子短期大学・横浜女 子短期大学・横浜創英短 期大学

祉専門学校・両国リハビリテーション専門学校・平成17年度、18年度の卒業生進路状況です。

(一)内は入学者数です。
○大学 東海大学教養学部・東海大学情報デザイン学部
(2)、東海大学情報デザイン工学部II部、

進路状況

(一)内は入学者数です。
○大学 東海大学教養学部・東海大学情報デザイン学部
(2)、東海大学情報デザイン工学部II部、

(一)内は入学者数です。
○大学 東海大学教養学部・東海大学情報デザイン学部
(2)、東海大学情報デザイン工学部II部、

(株)北里メディカルサービス、(株)寿電興、(株)スリー・エフ、(株)太子堂、(株)東芸エンターテイメント、(株)マルエツ、(株)川崎建鉄、(株)宝製菓、(株)日本エレクトリックインストルメント、(株)シロヤクリーン

、(株)日本エレクトロニクス、(株)川崎重工業、(株)エヌ・エス、(株)日本マテリアル、(株)東洋紡織、(株)日本エレクトロニクス、(株)日本エレクトロニクス、(株)日本エレクトロニクス

、(株)北里メディカルサービス、(株)寿電興、(株)スリー・エフ、(株)太子堂、(株)東芸エンターテイメント、(株)マルエツ、(株)川崎建鉄、(株)宝製菓、(株)日本エレクトリックインストルメント、(株)シロヤクリーン

、(株)日本エレクトロニクス、(株)川崎重工業、(株)エヌ・エス、(株)日本マテリアル、(株)東洋紡織、(株)日本エレクトロニクス、(株)日本エレクトロニクス、(株)日本エレクトロニクス

部活動

定時制の部活動は、現部があります。ここではその一部を紹介します。

陸 上 部

バドミントン

今年で創部5年目の、比較的新しい部活動です。今年は1ペアが全国大会に出場することができます。

・平成19年度県大会

百合野・岩本組

ソフトテニス

・女子走り幅跳び
第3位 中田 和子
(3位まで全国大会出場)

陸上部は平成13年から7年連続で全国大会出場を果たしています。少ない練習時間の中で恵まれたグランド環境をフルに活用し、徐々に伝統と実績を築きあげています。

◎全国大会県予選会
・男子走り高跳び
第2位 塩田 悠介
(塩田悠介は2年連続2種目全国出場)

・男子三段飛び
第2位 塩田 悠介
(塩田悠介は2年連続2種目全国出場)

・男子400Mハーフドール
第2位 奥谷 優樹

囲碁 部



部員は現在4年生が3名、2年生2名の計5名が先輩たちの栄光を引き継ぎ日々活動しています。木清南高校での全国定通大会県予選に5名が出場しました。結果は3名が2回戦まで進みましたが、念願の全国大会出場を果たすことはできませんでした。この悔しさをバネに秋の大会、さらには来年の大会を見据えて練習を続けます。



美 術 部

美術部は県高校定通制生徒作品展を目指して、毎週火曜日と夏休み中に毎年6名で活動しています。本年度はすでに、県防災ポスター конкурールに参

書 道 部

書道部は本年度に復活しました。現在、県高校定通制生徒作品展を目指して、毎週火曜日と夏休み中に毎年6名で活動しています。本年度はすでに、県防災ポスター конкурールに参

口 ボ コン 部

優秀賞 愛 松野 梢

・平成18年度県定通生徒

加出品しています。今後は、橋定祭ボスター、コンクールや第23回防災ボス

ター、コンクール等にも参

応 援 団

応援団部は生徒会本部役員を中心に創部3年目に入りました。その名の通り各運動部と各文化部の大会を応援しています。

また、県高校定通制生徒

が開催されています。特に高校野球大会では春・夏・秋季大会の地区大会から可能なかぎり応援団として参加しています。また、昨年は全員が一人ひとりの目標に向かって活動しています。

橋定祭では地元の中丸子ほとんどの対局者が全日制生徒です。囲碁を通して橋町会と囲碁の対局を通じて毎日制生徒との真剣な対局による心地よい緊張感や勝ったときの達成感は囲碁部員の励みとなつています。本年度も三段位の生徒を中心につき、9名の部員が再び県大会団体戦の夢は再び県大会団体戦のベスト8位以内です。

茶 道 部

放課後午後10時頃までの約1時間程度の限られた活動時間のなかで、着実に成果をあげる定時制部活動。近年、運動部、文化部とともに部員数も増加しており、ますますの活動が期待されます。

会員の皆様方も是非応援をお願いします。

茶道部は、現在1年生女子3名、4年生男子3名で活動しています。3名で活動しています。顧問の指導のもと、表千家のお手前と作法を文化祭での発表を目指し週2回お稽古に励んでいます。



第35回市内定時制生徒作品展入賞者
(平成18年度)
手芸の部
銀賞 周防 直樹
写真の部
銀賞 直井 愛
絵画の部
銅賞 山崎 楓
書道の部
銅賞 青木美恵華

茶道部は、現在1年生女子3名、4年生男子3名で活動しています。3名で活動しています。顧問の指導のもと、表千家のお手前と作法を文化祭での発表を目指し週2回お稽古に励んでいます。

茶道部は、現在1年生女子3名、4年生男子3名で活動しています。3名で活動しています。顧問の指導のもと、表千家のお手前と作法を文化祭での発表を目指し週2回お稽古に励んでいます。

茶道部は、現在1年生女子3名、4年生男子3名で活動しています。3名で活動しています。顧問の指導のもと、表千家のお手前と作法を文化祭での発表を目指し週2回お稽古に励んでいます。

茶道部は、現在1年生女子3名、4年生男子3名で活動しています。3名で活動しています。顧問の指導のもと、表千家のお手前と作法を文化祭での発表を目指し週2回お稽古に励んでいます。

